

# 防災マップの活用による災害時の体制づくり

小学校から始まる地域の協力関係づくり



災害リスク研究ユニット 研究員 須永洋平

## はじめに

全国の様々な地域で、防災活動の一環として避難所や危険個所などを記したオリジナルの防災マップが作られています。しかし、避難所の運営をどのように行うのか、その体制がなければ、避難所は災害時に混乱状態となるでしょう。同様に、危険個所を減らす活動が無ければ危険な地域のままでです。防災マップは、作ることが目的であってはなりません。地域の課題を解決することが目的であり、この目的を達成するためにマップは活用されるべきだと考えます。

茨城県取手市立白山小学校では、防災科研のアドバイスのもと、このような観点から避難場所の選定と児童の避難・見守り体制づくりを、学校・PTA・教育委員会・そして地域の方々とが協力して行っています。防災マップはどのように作られ、改良され、そして活用されていったのでしょうか。

## マップを使ったコミュニケーション

茨城県取手市は千葉県との県境である利根川に面しており、川を渡り千葉や東京へ通勤される方も多い地域です。災害時には保護者の帰宅困難が懸念されます。そこで、「登下校中や放課後など、小学生が地域の各所にいる時に大震災が起きたと想定し、どのように小学生の安全を確保し、保護者との再会を支援するか」をテーマに活動を行っています。具体的には、現状の

避難場所の見直しと、避難した小学生の支援体制づくりの2つの活動です。

### 【第1段階】避難場所見直し

まずは小学生が主となり避難場所について検討しました。指定避難所などが表示された校区のマップをA3用紙100枚程度に分割して印刷し、パズルのように組み合わせて大きなマップを作りました(写真①)。このマップを使って、自宅を含む学区内の避難場所や地域の特徴を把握し、避難場所に適していると考えられる候補地を探しました(写真②)。そして実際に現場を訪問して避難場所候補の安全性を確認(写真③)し、小学生たちが避難場所マップを作成しました(マップ左)。このマップを見ながら、地元を良く知る自治会・町内会や防災担当者、保護者やPTAと小学生とが話し合い(写真④)、より安全な避難場所を選定しました(マップ右)。

話し合いでは、「隣が崖の公園よりも、この駐車場の方が良い」、「公民館は学区外だが最近耐震工事を行ったので避難場所に適している」などのアドバイスを地域の先輩方から頂き、避難場所を決定しました。「学ぶ」が中心の授業では決して味わえない、小学生と地域の方々とが交流し災害時の対応を考えるという内容が新鮮で、楽しんで取り組んでいただけました。

### 【第2段階】小学生支援体制づくり

避難場所は決定しましたが、災害時、避難場所は大勢の方が集まり混乱した状況になるでしょう。小学生にとって安全な場所といえるので



写真①大マップで地域概要を把握



写真②避難場所候補地を整理



写真③候補地の安全確認



(マップ) 小学生と地域の方々との検討の結果、避難場所が変更に



写真④地域の方々と検討しながら避難場所を決定

でしょうか。場所決めだけでなく、避難した小学生に向けた支援体制づくりも合わせて必要です。

本事例では、教育委員会や自治会・町内会などが協力しながら、避難場所の管理者や周辺に住む住民、小学校の支援をされている住民に、小学生の避難誘導や見守り支援について協力を依頼していく予定です。作成したマップを印刷、配布しながら協力を求めていきます。

## 防災マップづくりのシステム

①ハザードマップや防災マップなどの各種マップを重ね合わせられる、②大きなマップの分割印刷など話し合いのやり方に適した形で印刷できる、③話し合いの結果を踏まえて登録内容を修正できる、などの優れた特徴を有するシステムが、当研究所が開発しているインターネットを活用したマップ作成システム「eコミマップ」です。この「eコミマップ」は取手市での防災マップ作成時の活用事例だけでなく、東日本大震災でのボランティア派遣、炊き出しの調整、罹災証明発行などでも活用されました。仮設住宅や親戚宅など、生徒が分散して生活している被災地の小学校でも、本システムを活用

した学校防災を考える取り組みがスタートしつつあります。

## 皆さんも取り組みませんか？

ここで紹介した事例のように「eコミマップ」を活用して地域の防災力を高めませんか？当研究所ではe防災マップコンテストを開催しており、本コンテストの参加者に「eコミマップ」を利用できるURLとログインアカウントをお渡ししております。本コンテストは学校だけでなく、「地域の防災を考えてみたい」方であればどなたでもグループでご参加いただけます。ふるってご参加ください。

### e防災マップコンテスト web サイト】

<http://emap2012.bosai-contest.jp/>

The screenshot shows the homepage of the 'e Disaster Prevention Map Contest'. It features a central banner with four steps: 'Step 1 聞く', 'Step 2 テーマを決める', 'Step 3 話し合う', and 'Step 4 パソコンで作る'. To the right, there's information about the contest period (application starts April 2, ends December 21), and a note that anyone can participate. Below the banner are links for 'e Disaster Prevention Map', 'Contest Overview', 'Participation Guidelines', and 'Application Submission'. At the bottom are buttons for 'Search' and 'Contestant Search'.